

被覆を必要とする農薬の使用時におけるリスク低減に関する研究

ポイント！

- **土壌くん蒸剤のクロルピクリン剤は、土壌病害虫を防除する有効な農薬であるが、刺激性があるため、農業者自身のみならず周辺住民にも被害が生じないよう、使用時にほ場をシートで被覆する必要がある。**
- **同剤の使用によるリスクをさらに低減する対策を検討する必要がある。**

現状・課題

・毎年、農薬使用時に適切に被覆をしなかったこと等を原因とするクロルピクリン剤による**事故が発生**。農水省はチラシ・ポスターなどで**啓発**。



・同剤の使用によるリスクをさらに低減する対策を検討するために、被覆資材の材質・厚さや環境条件による**揮散防止効果等の科学的知見を収集する必要**。

必要な研究

- ① **農業被覆資材の厚さ及び材質の揮散防止効果等への影響を把握**
- ② **環境条件（土壌の種類、温度等）の揮散防止効果等への影響を把握**
- ③ **被覆によるコストと収量増加等のベネフィットの比較**



研究成果の活用

・クロルピクリン剤の被覆に関する**適正な取扱いの指導や規制の検討**に活用する。

・土壌くん蒸剤の使用者に対する**暴露等の評価への活用**を検討する。

